

2EC 情報通信基礎実験 ガイダンス

本日の内容

1. 総責任 挨拶
金田 豊（前期）
坂本直志（後期）
2. 各テーマと担当者の紹介
＜予習とレポート作成について＞
3. 実験～レポート提出までの流れ
4. 注意事項
5. 次週の連絡事項

総責任

前期	金田 豊
後期	坂本直志

テーマ担当(通年)

デジタル技術の基礎

末石吾朗、木ノ下亘(副手)

増幅回路基礎

野口一徳、花房宏昭(副手)

テーマ担当(前期)

回路網の実験	阿部真弓、竹林涼(副手)
周波数と周波数特性の基礎	佐藤伸一、小林正明(副手)
パソコン組立	佐々木仁、山本健太(副手)、 田中紘世(副手)

テーマ担当(後期)

Web演習	坂本直志、三田遼平(副手)
ロジックの基礎	佐藤伸一、小林正明(副手)
R, L, C の実験	阿部真弓、竹林涼(副手)

班編成について

- 本日の出席をもとに班分けを行う
- 欠席者は4月12日(水)13:00までに欠席届を提出すること
提出先: 情報通信工学科 実験管理室(10523室)
- 班は次週発表予定(掲示板)
- 日程表・資料は下記ホームページよりダウンロードすること
<http://www.cis1.c.dendai.ac.jp/2ec/>

実験日程

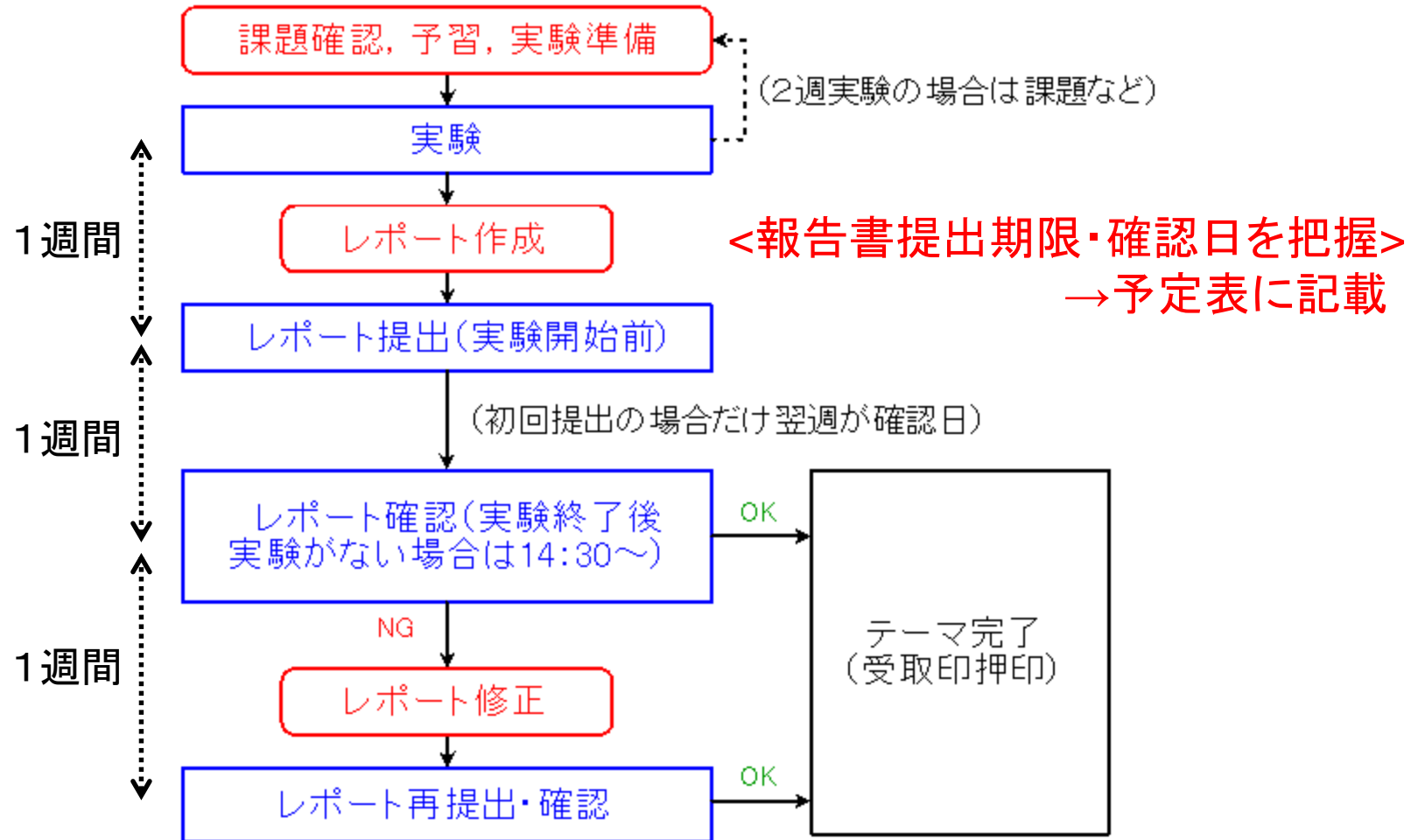
前期

実験項目			デジタル技術の基礎 1	デジタル技術の基礎 2	増幅回路基礎 1・2班	増幅回路基礎 3・4班	回路網の基礎	パソコン組み立て	周波数と周波数特性の基礎	報告書提出期限	報告書確認日	回
回	実験日	変更日										
1	4/10		ガイダンス								1	
2	4/17		入出力特性の基礎								2	
3	4/24		A		F1,F2		D	C	B	5/1	5/8	3
4	5/1			A			F3,F4	I	J	H	5/8	5/15
5	5/8		B		G1,G2			E	D	C	5/15	5/22
6	5/15			B			G3,G4	J	F	I	5/22	5/29
7	5/22		C		H1,H2			A	E	D	5/29	6/5
8	5/29			C			H3,H4	F	G	J	6/5	6/12
9	6/5		D		I1,I2			B	A	E	6/12	6/19
10	6/12			D			I3,I4	G	H	F	6/19	6/26
11	6/19		E		J1,J2			C	B	A	6/26	7/3
12	6/26			E			J3,J4	H	I	G	7/3	7/10
13	7/3		補習実験日					補習実験日			7/10	7/17
14	7/10		補習実験日						7/17	(注2)	14	
15	7/17		レポート確認日						(注1)	(注2)	15	

注1: 別途指示する

注2: そのまま受け取りになるので、十分に完成した報告書を作成すること

実験～レポート提出の流れ



注意事項

- テキストの「情報通信基礎実験について」,
「実験について(心得)」を把握しておくこと
- テキストの「実験報告書の記入方法の注意」,
「報告書の書き方」に従って実験報告書を作成すること
消せるボールペンは使用禁止
- 実験関連の連絡はUNIPAのほか実験室前の掲示板でも行う
週1回は掲示板を見に来ること(見落としは自己責任)
- 予習忘れ, 予習不足は再実験対象

実験室内の服装について

- ・実験時に腰から下は肌が露出しないようにする
(サンダル, ローライズパンツ, 半ズボン, ミニスカート等)
- ・脱帽

実験では、刃物や重量物の落下、ハンダの飛散など、怪我の危険性が十分あることを常に意識し、安全管理を心がけること

実験を行う事を考慮した服装で実験室に来ること

重複履修を希望する学生

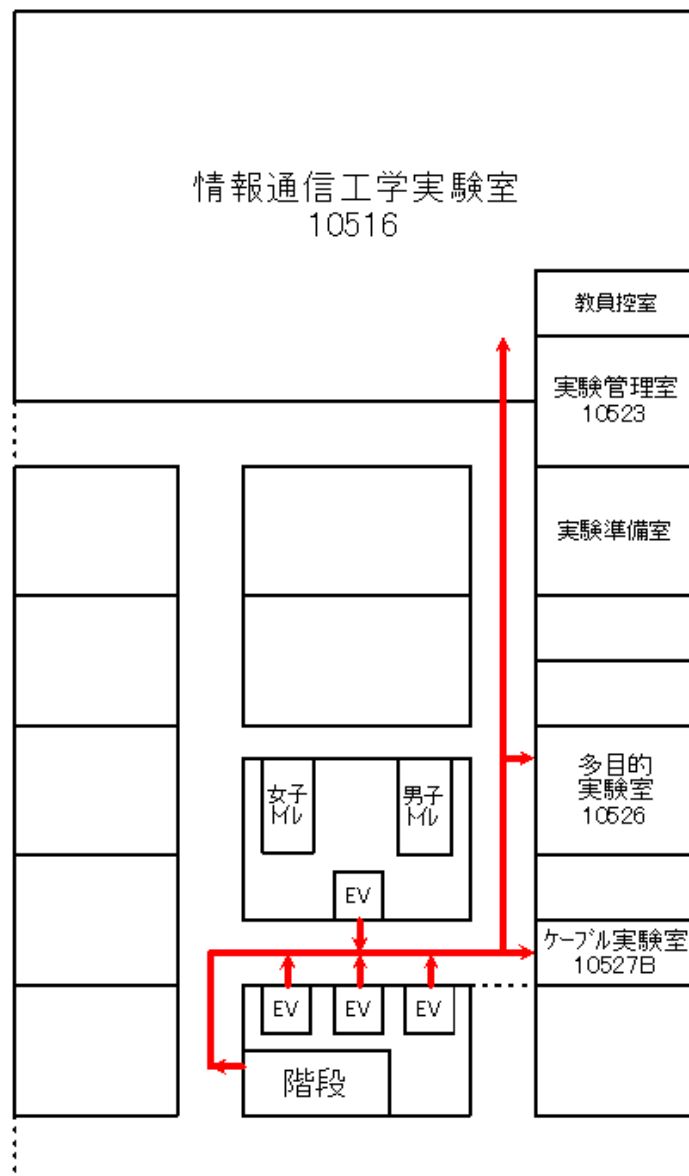
- 必修科目「コンピュータ基礎及び演習」が不合格となっている学生は、重複履修の申請書を事務に提出 すること(前期、後期とも)
- ただし、受講は実験を優先し、全ての実験に参加し、レポートを提出すること
- コンピュータ基礎及び演習の勉強方法は
担当教員の指示に従うこと
(該当講義のホームページ, UNIPAを通じて連絡予定)

次週 4月17日(月)

「入出力特性計測の基礎」

- 実験ノートを作り、予習をしてくること
予習課題:「入出力特性計測の基礎(p.2)」
 - ◆ 1.と5.はグラフ用紙を使用すること
 - ◆ 2.はダウンロードした課題を印刷して使用すること
- 実験に使用するもの
 - ◆ ブレッドボード
 - ◆ 100 Ω の抵抗 2個

実験室までのルート (1号館5階)



ワークショップ I・II と同様

入室時間および
レポート提出時間

12:50~13:10

ケーブル実験室が
ある側を通ること

廊下では静粛に
速やかに入室すること